

## 我孫子市北新田におけるコヨシキリの繁殖

時田賢一

## はじめに

1990年7月と8月及び1991年7月に我孫子市北新田（35°53' N, 140°2' E）でコヨシキリ *Acrocephalus bistrigiceps* の繁殖を確認したので報告する。

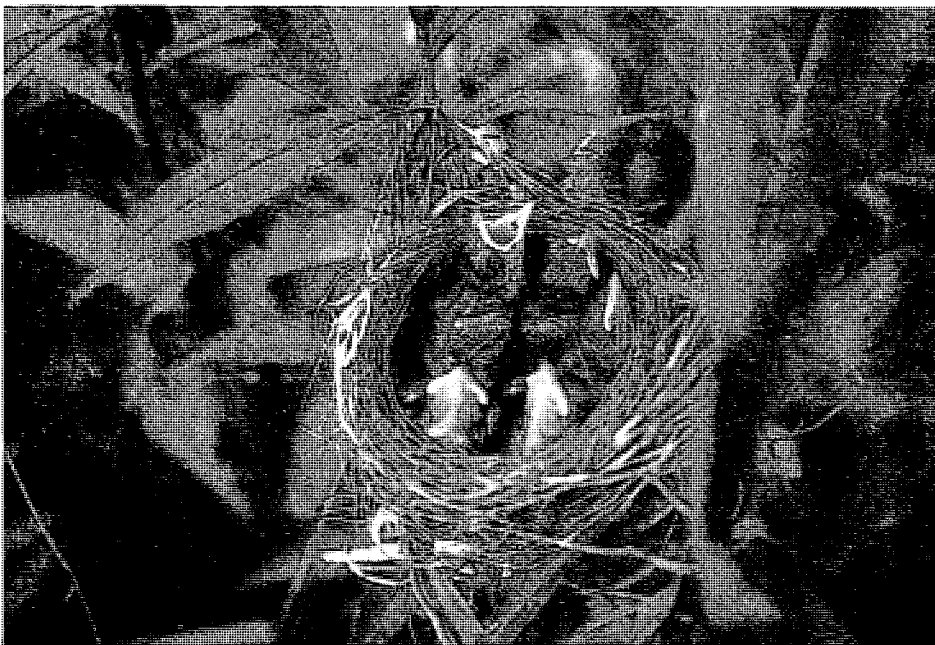
営巣場所は、北新田の越流堤防と排水路とはさまれたヨシ *Phragmites australis* を中心とした抽水植物群落内である。群落内にはヨシやキリンソウ *Sedum aizoon* のほか、マコモ *Zizania latifolia* ・ヒメガマ *Typha augustifolia* ・ススキ *Miscanthus sinensis* ・チガヤ *Imperata cylindrica* ・セイタカアワダチソウ *Solidago triquetra* などが混在しているヨシ原である。

巣はヨシとキリンソウに営巣されていた。ヨシに営巣したものは、地上1.6m、営巣下は水面（1例，1991）。キリンソウに営巣したものは、地上0.60m～0.70m、営巣下は地面（4例，1990・1例，1991）と水面（1例，1991）であった（表1）。巣材はヨシやススキなどの葉や穂を使用しており、産座には細かな植物繊維や羽毛及び獣毛と思われる物が敷かれているのが観察された。1巣の卵数は5卵が3例、4卵が3例であった。巣立ちまで確認できたのは1例だけであった。孵化後、巣立ちまでの日数は11日ぐらいと報告されている（清棲 1965）が、観察では、孵化後、巣立ちまでの日数は、7日であった。繁殖期は6月頃からと思われるが、8月18日の遅い時期に卵であったことから、繁殖期にかなりの幅が認められた。このことから考えると、北新田の繁殖は期間的に2回の繁殖が可能であると考えられる。

営巣場所について、オオヨシキリとの種間関係や生息環境の選択性の違いについて報告（香川 1989）があるが、これらの点については今後の課題として調査してゆきたいと考えている。

環境	営巣状況	営巣		一腹卵数	ふ化	巣立ち	
		発見月日	地上からの高さ				
1 ヨシ原	キリンソウ	1990. 7.15	0.63	地面	5	5	—
2 ヨシ原	キリンソウ	1990. 7.18	0.60	地面	4	4	—
3 ヨシ原	キリンソウ	1990. 7.22	0.70	地面	5	5	—
4 ヨシ原	キリンソウ	1990. 8.18	0.60	地面	4	3	3 (8.25)
5 ヨシ原	キリンソウ	1991. 7.22	0.65	地面	4	4	—
6 ヨシ原	ヨシ	1991. 7.22	1.60	水面	5	4	—

—：観察せず



参考文献

- 香川敏明. 1989. 同所性オオヨシキリとコヨシキリの種間関係. 日本鳥学会誌 37: 129-144.  
清棲幸保. 1965. 日本産鳥類大図鑑 I. 講談社, 東京.

**Breeding record of the Black-browed Reed Warbler *Acrocephalus bistrigiceps*  
in Kita-shiden, Abiko city.**

**Ken-ichi Tokita**

Abiko City Museum of Birds. Kohnoyama 234-3, Abiko, Chiba, 270-11, Japan.